

# 肺結核患者ニ於ケル指爪彎曲ニ就テ

(昭和 17 年 6 月 9 日受領)

傷 疾 軍 人 鹿 兒 島 療 養 所  
(指導 小宮悦造教授及所長本郷孝久博士)

吉 谷 範 夫

## 目 次

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 一 緒 言           | ロ) 病症及び罹病期間トノ關係 |
| 二 調査方法          | 1) 病竈範圍トノ關係     |
| 三 調査成績          | 2) 活動性トノ關係      |
| A 健康者(對照)ニ於ケル成績 | 3) 罹病期間トノ關係     |
| B 肺結核患者ニ於ケル成績   | 四 總括並ニ結辭        |
| イ) 一般の觀察        | 主要文献            |

## 一 緒 言

古來肺結核患者ニ於テハ他ノ慢性呼吸器疾患及ビ心臟疾患ニ於ケルト同様鼓桴指ノ生ズルコトガ認めラレ殊ニ其ノ指爪ノ高度ノ彎曲ハ Hypokratische Nagelkrümmung トシテ留意サレテ來タモノデアル。鼓桴指ニ於ケル骨組織ノ變化ハ Bamberger 及ビ Piere Marie ノ Osteoarthropathie hypertrophiant Pnouvonique ヲ始メ文献ニ散見スル所デアアルガ、指爪ノ變化ニ就テノ記載ハ少イ様デアアル。1925 年ノ Ulrici 次デ W. Pagel ガ調査シタ所ニヨルト 250 名ノ

肺結核患者ノ中 17 名ニ Hypokratische Nagelkrümmung ヲ認め、該現象ノ主トシテ開放性肺結核デ廣汎ナ硬化萎縮ヲ生ジ縱隔臟器ハ牽引サレ惡液質ニ陥ツク者ニ見ラレルトイフ。余ハ斯ル高度ノ變化ナラズ共或ル一定ノ變化ガヨリ輕症ノ肺結核患者ニモ認めラレルノデハナイカト思考シ、傷疾軍人鹿兒島療養所入所中ノ肺結核患者 46 名ニ就テ調査シシカ得ル所ガアツクノデ茲ニ報告スル次第デアアル。

## 二 調査方法

指爪ノ彎曲指數トシテハ幅高指數、撲彎曲指數、縱彎曲指數等ガアルガ測定ニ容易ナ後ニ器ヲ撰ブコトトシタ。指爪ノ損傷中機能的影響ヲ考慮シテ利手デナイ方(大部分ハ左手)ノ五指ニ就テ滑測器及ビ卷尺ヲ用ヒテ計測シタ。計測前ニ良ク爪ヲ剪ツテ爪床ヨリ遊離セル遊離縁ヲ可及的除キ滑測器ヲ用ヒテ爪幅 gerade Breite 及ビ爪長 gerade Länge ヲ其ノ最大ノ箇所ニ於イテ計測シ、目印ヲ附シテ同一ノ箇所ニ於イテ

卷尺ヲ用ヒテ爪弓幅 Bogenbreite 及ビ爪弓長 Bogenlänge ヲ計測シソレゾレ兩者ヨリ横彎曲指數 transversale Krümmungsindex  $\frac{\text{爪幅} \times 100}{\text{爪弓幅}}$  及ビ縱彎曲指數 sagitale Krümmungsindex  $\frac{\text{爪長} \times 100}{\text{爪弓長}}$  ヲ計算シ、更ニ各例ニ就テ兩指數ノ五指ノ平均ヲ求め、ソレゾレ平均横彎曲指數及ビ平均縱彎曲指數トシテ比較判定ノ目標トシタ。計測ニ先立ツテ滑測器ト卷尺ノ目盛ヲ良ク

一致シ居ルヤ否ヤ吟味シテ正確ヲ期シタ。

### 三 調査成績

#### A 健康者(對照) = 於ケル成績

指爪ノ彎曲ハ機能的ノミナラス年齢ノ上デモ或ル程度ノ差が見ラレル。調査ノ對照タル肺結核患者ハ今次事變=於ケル傷痕軍人デ殆ド大部分ガ青壯年期=アル者デアアルノデ茲=計測シタ健康者 20 名ハ之=相當スル年齢ノ男子ヲ撰ンダ。20—24 歳 5 名、25—29 歳 5 名、30—34 歳 3 名、35—40 7 名デアアル。

計測ノ結果 20 名ノ各指=於ケル平均値ハ次ノ如クデアアル。横彎曲指數ハ拇指 77.66(最小値 73.49—最大値 85.56)、示指 80.52(74.05—94.98)、中指 77.60(67.11—85.71)、環指 76.70(66.25—85.71)、小指 76.74(70.97—84.43) = シテ、

横ノ彎曲ハ環指—小指—中指—拇指—示指ノ順=小トナル。縱彎曲指數ハ拇指 98.63(91.55—100.00)、示指 99.23(97.64—100.00)、中指 99.71(97.50—100.00)、環指 99.72(97.86—100.00)、小指 99.26(96.67—100.00) トナリ、縱ノ彎曲ハ拇指—示指—小指—中指—環指ノ順=小トナル。平均横彎曲指數ノ平均値ハ 78.00(72.71—86.69) ± n=0.89 トナリ、平均縱彎曲指數ノ平均値ハ 99.28(97.89—99.84) ± =0.13 トナル。(第一表參照)

第 一 表

指 數	I	II	III	IV	V	平均彎曲指數 (平均)
横彎曲指數(平均)	77.66	80.52	77.60	76.70	76.74	78.00
(最小値—最大値)	(73.49—85.56)	(74.05—94.98)	(67.11—85.71)	(66.25—85.71)	(70.97—84.43)	(72.71—86.69) m=0.89
縱彎曲指數(平均)	98.63	99.23	99.71	99.72	99.26	99.28
(最小値—最大値)	(91.55—100.00)	(97.64—100.00)	(97.50—100.00)	(97.86—100.00)	(96.67—100.00)	(97.89—99.84) m=0.13

圖 = Nippert = ヨレバ北獨乙、中部獨乙及ピ瑞西 = 於ケルソレソレ 57 名、23 名、20 名ノ男子 = 就テノ計測値ハ次ノ如クデアアル。即チ余ノ平均縱彎曲指數ノ平均値 = 相當スルモノハ北獨

乙 = 於イテ 93.48、中部獨乙 = 於イテ 93.09、瑞西 = 於イテ 91.7 トナツテキル。平均横彎曲指數ノ平均値 = 相當スルモノハ北獨乙 79.3、中部獨乙 79.9、瑞西 81.1 トナツテキル。

#### B 肺結核患者 = 於ケル成績

##### イ) 一般的觀察

傷痕軍人鹿兒島療養所入所中ノ肺結核患者 46 名 = 就テ調査シタ。今次事變中 = 發病シタ傷痕軍人デ大部分ハ青壯年期 = 在ルモノデアアルガ、其ノ年齢的分布ハ 20—24 歳 17 名、25—29 歳 21 名、30—34 歳 5 名、35—40 歳 3 名デアアル。イヅレモ X 線寫眞上浸潤竈ヲ認メルモノデアアルガ、當所入所者ハ原地軍衛生部及ピ内地陸海軍病院ヲ轉送サレテ來タモノデ發病以來相當ノ時日ヲ經過シテキルノデ、病竈小範圍ノ者ハ調査

當時 = ハ既 = Fibrose = 移行シ或ハ肺門陰影ノ肥大肺紋理ノ増加ノミヲ認メル程度ノ輕症治癒期ノ者カラ兩肺全面ノ血行性撒布性肺結核、廣汎ナ硬化萎縮ヲ生ジ惡液質 = 陷レル者、死期ノ近イ末期結者 = 至ルマデ種々ノ病型經過ノ者ヲ含ンデキル。閉鎖性肺結核 18 名、開放性肺結核 28 名、體溫 = 關シテハ發熱結者 27 名、無熱結者 19 名 = 就テノ調査結デアアル(次表參照)。

症 例 分 類 表

分 類		肺 門 炎 又ハ肺尖炎	肺 浸 潤	肺 結 核	血 行 性 撒 布 性 肺 結 核	肺 癆
例 數		10	8	19	4	5
咯 痰 中 結 核 菌		(-)	(-)	(+)	(+)	(+)
發 熱		(-) (3) (+) (7)	(-) (2) (+) (6)	(-) (6) (+) (13)	(+) (4)	(+) (5)
合 併 症	胸 膜 炎 經 過	3	2	4	(-)	4
	腹 膜 炎	(-)	(-)	(-)	(-)	1
	腸 結 核	(-)	(-)	(-)	(-)	2
	喉 頭 結 核	(-)	(-)	(-)	2	2
	肋 骨 カ リ エ ス	(-)	(-)	(-)	1	(-)

健康者(對照) = 於ケルト同様各指 = 就テノ  
 平均値ハ横彎曲指數ハ拇指 76.10 (最小値 68.75  
 - 最大値 88.23)、示指 76.07 (64.13-86.00)、中  
 指 73.62 (66.47-86.24)、環指 72.30 (62.87-89  
 23)、小指 73.28 (60.00-88.00)、平均横彎曲指  
 數ノ平均値ハ 74.78 (65.98-85.64)  $\pm m = 0.66$   
 トナリ、各指 = 於イテ健康者ノ數値ヨリ減少シ  
 テキル。即チ横ノ彎曲ハ健康者 = 比シテ五指共  
 増大シテキル。各指爪ノ横彎曲ノ程度ハ健康者  
 ト同様環指最モ強ク、小指之 = 次ギ中指 - 示指  
 一拇指ノ順位 = 弱クナル。次 = 縦彎曲指數ハ拇  
 指 98.20 (93.03-99.59)、示指 96.62 (92.13-

99.23)、中指 97.92 (94.12-99.24)、環指 98.36  
 (94.49-99.64)、小指 97.57 (93.39-99.58)、平  
 均縦彎曲指數ノ平均値ハ 97.64 (92.89-99.66)  
 $\pm m = 0.24$  トナル。横彎曲指數ト同様縦彎曲指  
 數モ各數値共健康者對照 = 比シ減少シテキル。  
 換言スレバ縦ノ彎曲ハ増加シテキルノデアツ  
 テ、即チ肺結核結結者 = 於イテハ其ノ指爪ハ縦  
 横共 = 彎曲ヲ増シ一般 = 膨隆シテキルト云フコ  
 トガ出來ル。各指ノ縦彎曲ノ程度ハ健康者對照  
 ト異リ示指最モ強ク、小指之 = 次ギ、中指 - 拇  
 指 - 環指ノ順 = 弱クナル (第二表參照)。

第 二 表

指 數 指 爪	I	II	III	IV	V	平均彎曲指數 (平均)
横彎曲指數(平均)	76.10	76.07	73.62	72.30	73.28	74.78
(最小値-最大値)	(68.75-88.23)	(64.13-86.00)	(66.47-86.24)	(62.87-89.23)	60.00-88.00)	(65.9-85.64) $m = 0.66$
縦彎曲指數(平均)	98.20	96.62	97.92	98.36	97.57	97.64
(最小値-最大値)	(93.03-99.59)	(92.13-99.23)	(94.12-99.24)	(94.49-99.64)	(93.39-99.58)	(92.89-99.66) $m = 0.24$

而シテ平均縦横彎曲指數共全例ヲ通ジテノ平  
 均値ハ健康者平均値 = 比シテ上述ノ如ク減少シ  
 テキルガ、兩者ノ減少ガ各症例 = 於イテドノ程  
 度 = 伴フモノデアルカ相關表ヲ作ツテ見ルト第  
 三表ノ如キ結果トナル。

表中平均縦彎曲指數 99.50 ノ列 = 於イテハ其  
 ノ度數ハ平均横彎曲指數 83.50-70.50 ノ間 = 分  
 布シ、殊 = 98.50 ノ列 = 於イテハ 85.50-67.50

ノ間 = 分布シ動搖ガ大キク、縦ノ彎曲ノ小ナル  
 者デ横ノ彎曲ノ大ナルモノガアルガ、縦彎曲ガ  
 増ス = 從ヒ其ノ度數ノ分布ハ横彎曲ノ大ナル方  
 = 推移シテキル。大體 = 於イテ正ノ相關係ガ  
 認メラレル。因 = 上表ヨリ相關係數  $r$  及ビ其ノ  
 平均誤差ヲ算出スレバ  $r = 0.43$   $mr = 0.133$  ト  
 ナル。即チ肺結核結者 = 於イテハ縦彎曲ガ増加  
 スル = 從ヒ横彎曲モ大體 = 於イテ之 = 伴ヒ増加

第 三 表

	指平 數橫	85.50	84.50	83.50	82.50	81.50	80.50	79.50	78.50	77.50	76.50	75.50	74.50	73.50	72.50	71.50	70.50	69.50	68.50	67.50	66.50	65.50	M
指平 數縱	99.50		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1						9
	98.50	1				3			1	1	1	1	2	1				1	2	2			15
	97.50				1	1		3	1	1			1	1	1								10
	96.50								1				1	1	1								4
	95.50								1		1		3										5
	94.50													1								1	2
	93.50																						
	92.50																			1			1
IV		1	1	2	3	2	1	6	3	3	2	7	3	3	1	2	2	3				1	46

相關係數  $r=0.43$   
 $mr=0.133$

〔註〕 平橫指數=平均橫彎曲指數  
平縱指數=上=準ズ

スル。コノ關係ハ縱彎曲ノ高度トナルホド顯著  
デア。平均橫彎曲指數ハ最小最大値及ビ平均  
誤差ヨリ推察シ得ル如ク健康者ニ於テモ個人  
差ガ大キイノデ以下各項ニ於テハ平均縱彎曲  
指數ノミヲ以テ考按ニ資スルコトシタ。

次ニ上掲症例分類表ニ從ツテ平均縱彎曲數ノ

平均値ヲ算出シテ見ルト下表ノ如クナル。表中  
各列ニ於ケル例數ガ少ク且動搖ガ大キイノデ平  
均値ノ意義ハ少イガ、健康者（對照）ニ於ケル  
平均値 99.28 (97.89—99.84) ニ比スレバ各列共  
ニ彎曲度ハ増シ、尙重症ナルニ從ツテ増加スル  
傾向ヲ認メ得ル。

肺門炎又ハ肺炎炎	肺 浸 潤	肺 結 核	血 行 性 撒 布 性 肺 結 核 及 肺 癆
10	8	19	9
98.40 (97.13—99.23)	98.02 (96.03—99.25)	97.73 (95.41—99.66)	96.57 (92.88—98.59)

ロ) 病症及ビ罹病期間トノ關係

1) 病竈範圍トノ關係 鼓桴指ノ發生要因ニ  
就テハ疑義ノ有ル所デア。T. Brugsch u. E.  
Fränkel = ヨレバ慢性呼吸器疾患中該現象ノ比  
較的頻度ニ見ラレル年管枝擴張症ニ於テハ慢  
性炎症ニヨル局所ノ萎縮現象ト之ニ伴フ周圍臟  
器殊ニ縱隔竇臟器ノ牽引、位置移動ニ因ツテ生  
ズル循環ノ鬱血、右心ノ過重負擔ニ起因スル末  
梢ノ循環障礙ガ鼓桴指發生ノ要因デア。トシ同  
時ニ局所カラノ吸收毒素ノ刺激作用モ其ノ一端  
ヲ擔フモノデア。トイフ。Blumenfeld ハ心臟  
疾患殊ニ先天性心臟疾患ニ於テハ指端ノ充血ヲ  
伴フ鬱血ガ成長ヲ促進シ鼓桴指ヲ生ゼシメルト  
シテキル。肺結核ニテハ右心ノ過重負擔ニ因ル  
末梢ノ循環障礙ニ基因スルガ増殖ガ鼓桴指發生  
ノ主因ヲナストハ一般ニ肯定サレテキル様デア

ル。右心ニ對スル過重負擔トイフ意味カラハ肺  
ニ於ケル病竈ノ硬化萎縮ノ程度ハ上述ノ如ク意  
義ガ深イガ病竈ノ範圍モ亦大ナル意義ガアルト  
考ヘラレ。余ハ先ツ比較ニ容易ナ後者ヲ採ツ  
テ指爪ノ彎曲度トノ關係ヲ検討シテ見タノデア  
ル。病竈範圍ノ比較ニハ X 線寫眞ノ判讀ニ一般  
ニ使用サレル區分ヲ用ヒタ。即チ左右兩肺ニテ  
鎖骨ヨリ上部ヲ Spitzenfeld. 以下第二肋骨迄ヲ  
Oberfeld. 第二肋骨以下第四肋骨迄ヲ Mittel-  
feld. 第四肋骨以下ヲ Unterfeld トシ偏側ヲ 4  
野、兩肺ヲ 8 野ニ區分スル。病竈一野ニ含マル  
モノハ 1/3。ヲ以テ表シ二野ニ沿ツテキルモノ  
ハ 2/3。ノ如ク記載シタ。斯ル區分ハ實際上ノ等  
分トイフ點ヨリハ勿論 X 線寫眞上ノ面積ニ於テ  
モ等分サレテキル譯デナク、比較ニハ適切ヲ

缺クカモシレナイガ便宜的=使用シタ。傷痍軍人療養所=入所セル患者ハ前述ノ如ク發病以來相當ノ時日ヲ經過シテキル者ガ多ク、從ツテ病竈小範圍ノ者ハ既ニ Fibrose =移行シ、或ハ肺門周圍ニ樹枝狀ノ陰影ヲ認ムルモノ又ハ單ニ肺門陰影肥大シ肺紋理ノ稍々増加セル程度ニテ限局セル浸潤竈ヲ認メ難キモノモアリ、 $1/8$ ノ範圍ニハ斯ルモノモ含マレテキル。 $7/8$ 、 $2/8$ — $4/8$ 、 $5/8$ — $8/8$ ノ三組ニ組分ケシ平均縱彎曲指數トノ相關表ヲ作ツテ見ルト第四表ノ如クデアル。

第四表

平均縱彎曲指數	99.75	99.25	98.75	98.25	97.75	97.25	96.75	96.25	95.75	95.25	94.75	94.25	93.75	93.25	92.75	M
健康者	10	6	2	2												
$1/8$	4	1	5	1	1											12
$2/8-4/8$	1	3	2	3	1	1	1									12
$5/8-8/8$	1	2	5	4			3	3	1	2						22
$\Sigma$	18	31	28	22			43	22								46

$r=0.50$   
 $mr=0.111$

表中病竈範圍ノ大ナル者ニモ尙平均縱彎曲指數ノ大ナル者即チ縱彎曲ノ弱イモノガアルガ、侵サレタ範圍ノ廣クナルニツレ健康者(對照)或ハ病竈小範圍ノ者ニハ見ラレナイ彎曲ノ強イ者ガ増加シテ來ル。上表ノ健康者ヲ陸イタモノカラ相關係數  $r$ 、其ノ平均誤差  $mr$ ヲ算出スルト  $r=0.5$   $mr=0.111$  トナリ、可成ノ正ノ相關々係ガ認メラレル。病竈ノ範圍ト縱彎曲トハ大體伴フトイフコトガ出來ル。即チ侵サレタ範圍ガ廣クナルニツレ指指ノ彎曲ハ高度トナル。

而シテ 43 名ノ患者中鼓桴指ノ認メラレル者ガ 4 名デ、イヅレモ平均縱彎曲指數ハ 92.88(全病例中彎曲度最強)ヨリ 95.77ノ高度ノ彎曲ヲ呈スル。所謂 Hypokratische Nagelkrümmungハ如何ナル程度以上ノモノヲ稱スルモノデアルカ、其ノ限界ハ定ムベクモナイガ、鼓桴指ヲ呈スル者ト同等程度ノ高度ノ彎曲ヲ示シ鼓桴指ノ認メラレナイモノガ他ニ 3 名アル。以上 7 名ノ中前述ノ Pagelノ稱スル如ク臨床上或ハ X線寫眞上廣汎ニ硬化萎縮ヲ認メ惡液質ニ陥レル者ハ

1 名デアル(病竈範圍ハ上記ノ記號ヲ用フレバ  $8/8$ デアル)。2 名ガ血行性撒布性肺結核( $8/8$ 、 $7/8$ )。他ノ 4 名ハイヅレモ開放性肺結核デ氣管枝性轉位竈ヲ生ジ病症進展中ノ病竈廣汎ナルモノデアル( $6/8$  3 名、 $7/8$  1 名)。即チ硬化萎縮ノ程度ガ左程高度デナク共、侵サレタ範圍ガ廣汎デアレバ高度ノ彎曲ヲ生ジ、進ンデハ鼓桴指ヲ呈スルニ者ルモノト考ヘラレル。

2) 活動性トノ關係 病症活動ノ程度ヲ赤血球沈降速度ヲ以テ表スコトニシタ。他ノ臨床症狀ヨリ豫期サレル値ヨリ異常ニ緩慢ナルモノ或ハ促進セルモノハ之ヲ除キ、一般ニ自覺症並ニ他覺的所見殊ニ發熱ト伴フモノヲ撰シテデアル。ウエステルグレーン氏法平均値 10 耗以內、 $10 < 30$  耗、 $30 < 50$  耗、 $50$  耗 $<$ ノ四組ニ組分ケシ第五表ノ如ク平均縱彎曲指數トノ相關表ヲ作ツタ。表ヨリ明カナル如ク赤沈速度ノ促進スルニツレテ平均縱彎曲指數ノ小ナルモノ即チ縱彎曲ノ高度ナルモノガ増加シテ來ル。度數ノ分布配列ハ凡ソ左上ヨリ右下ニ向ツテキル。表ヨリ健康者ヲ除キ相關係數及ビ其ノ平均誤差ヲ算出スレバ  $r=0.51$   $mr=0.109$  トナリ前項ノ病竈範圍トノ關係ニ於ケルト同等稍度ノ相關々係ガ見ラレル。

第五表

平均縱彎曲指數	99.75	99.25	98.75	98.25	97.75	97.25	96.75	96.25	95.75	95.25	94.75	94.25	93.75	93.25	92.75	M
健康者	10	6	2	2												
mm -10	3	1	5	2			1									12
mm " 10>30	1	5	2	3			2									13
" " 31<50			2	3	2	1	1	1	2							11
" " 50<				2	1	1	2	1	2							10
$\Sigma$	18	31	28	22			43	22								46

$r=0.51$   
 $mr=0.109$

3) 罹病期間トノ關係 當療養所入所者ハ殆ド今次事變中ニ發病シタモノデアルノデ罹病期

間ハ最長ノモノガ5年5ヶ月デ1名アリ、他=3年3ヶ月ノモノ一名、以上2名ヲ除キ他ノ44名ハイヅレモ4ヶ月以上3年以内ノモノデア  
ル。半年以内、一年以内、二年以内、二年以上ノ4組=分ケ例ノ如ク平均縦彎曲指數トノ相關表ヲ作ツテ見ルト第六表ノ如クナル。誤差=於  
イテハ前二項=於ケル關係ト異リ度数ノ分布ハ一定ノ配列ヲ示サズ。表ヨリ健康者ヲ除キ算出  
セル相關係數及其ノ平均誤差ハ  $r=-0.15$   $mr=0.145$  トナリ、相關々ハ認メラレナイノデア  
ル。

第六表

平均縦彎曲指數	92.75	93.25	93.75	94.25	94.75	95.25	95.75	96.25	96.75	97.25	97.75	98.25	98.75	99.25	99.75	M
健康者	10	6	2	2												
—0.5年			2			2										4
0.5<1年		4	3	4	3	1		2		2					1	20
1<2年		2		4	3	1			2	2						4
2<年		1	2		2	2			1							8
M	1	8	3	12	8	2		4	3	2	2				1	46

$r=-0.15$   
 $mr=0.145$

即チ罹病期間ハ指爪ノ彎曲ニハ大シタ影響ハ無イト云ヒ得ル。茲ニ調査シタ病例中ニハ輕症者デ既ニ治癒期=在ルモノデ相當ノ病日ヲ經過シテキルモノモアリ、又重症者デ發病後比較的

日ノ淺イモノモアリ、從ツテ病症同程度ノモノ=於ケル罹病期間ノ影響ハ茲ニ得ク結果ヨリハ容易ニ推論シ難イ。病症進展中ノモノデ經過ガ長クナレバ循環器=對スル影響モヨリ大キイデア  
ラウカラ尙強イ指爪ノ變化モ期待シ得ル所デア  
ル。肺結核=於ケル鼓桴指ト罹病期間=就テモ信據スベキ支獻ハ無イ様デア  
ル。高度ノ萎縮ヲ起シタ極メテ慢性ノ陳舊性肺結核=見ラレルモノデア  
ルトスルノガ一般ノ通念デア  
ル。陳舊性肺結核デ十年或ハ數十年ノ經過ヲ取り來ツタ者=多ク、從ツテ40代又ハ50代ノ中老以上ノ肺結核患者=多イ様デア  
ルト述ベテキル者モアル。余ノ例ニ於イテハ前述ノ如ク鼓桴指ヲ認メ  
ル者ガ4名デア  
リ、之ト同等程度ノ高度ノ指爪彎曲ヲ呈シ鼓桴指ヲ認メタル者ガ他ニ3名、以上7名ノ罹病期間ハ一年以内ノモノ3名、一年以上二年以内ノモノ13名、二年以上ノモノ1名デア  
ル。鼓桴指ノ發生殊ニ其ノ指端ノ骨變化ヲ生ズル迄ニハ一般ニ豫期サルル如ク相當ノ期間ヲ要スルカモシレナイガ指爪ニハ比較的早く變化ガ來ルモノデハナイカト思惟セラレ  
ル。茲ニ調査シタ患者ノ中デモ注意深イ者デハ此ノ病氣ニナツテカラ爪ノ形ガ變ツテ來タト告ゲタ者モアル。今回使用シタ計器ヨリ尙米密ナ計器ヲ用ヒテ經過ヲ追ツテ觀察シタナラバ比較的早期ニ此ノ變化ヲ檢知シ得ルノデハナイカト考ヘラ  
レ  
ル。

#### 四 總括竝ニ結辭

重症肺結核患者=於ケル鼓桴指並ニ高度ノ指爪彎曲ノ發生ハ古クヨリ文献ニ散見スル所デア  
ルガ一般ノ肺結核患者=就テ調査シタ報告ハ少イ。余ハ健康者(對照)20名並ニ種々ノ病型經過ノ肺結核患者46名=就テ指爪ノ縱彎曲指數及ビ橫彎曲指數又計測シテ其ノ彎曲度ヲ比較檢討シ、更ニ肺結核患者=就テハ其ノ病竈範圍、病症ノ活動性及ビ罹病期間ト指爪彎曲ノ關係ヲ檢索シテ之ヲ闡明スルコトガ出來タ。

健康者(對照)20名=就テノ各指數平均值ハ

次ノ如クデア  
ル。橫彎曲指數ハ環指 76.70—小指 76.74—中指 77.60—拇指 77.66—示指 80.52  
トナリ、即チ此ノ順位デ橫彎曲ハ輕度トナル。縱彎曲指數ハ拇指 98.63—示指 99.23—小指 99.29—中指 99.71—環指 99.72  
トナリ、即チ此ノ順位デ縱彎曲ハ輕度トナル。平均橫彎曲指數ノ20例ノ平均值ハ78.00ニシテ、平均縱彎曲指數ハ99.28デア  
ル。

肺結核患者46名ヲ通ジテノ各指數平均值ハ次ノ如ク、橫彎曲指數ハ環指 72.30—小指 73.28

一中指 73.62—示指 76.07—拇指 76.10、平均横彎曲指數ハ 74.78 トナリ、健康者對照) = 比シ各數値共減少スル。即チ横彎曲ハ強度トナル。五指ノ彎曲度ノ順位ハ大體健康者ト同ジク只示指ト拇指ガ其ノ位置ヲ互ニ入レ換ツテキル。縦彎曲＝於イテモ各指數共健康者(對照)ノソレニ比シ減少シ、即チ示指 96.62—小指 97.57—中指 97.92—拇指 98.20—環指 98.36、平均縦彎曲指數 97.64 トナリ、縦彎曲ハ強度トナル。五指ノ縦ノ彎曲度ノ順位ハ健康者ト異リ、最強ノモノハ示指デ小指中指ガ之ニ次グ。次ニ各症例＝於イテ縦横兩彎曲ガドノ程度ニ伴フモノデアルカ、即チ縦彎曲ノ強度ナル者ハ横彎曲モ同時ニ強度トナルカ、兩者ノ關係ヲ平均縦横彎曲指數ヲ採ツテ相關表ヲ作り相關係數ヲ算出シテ檢討スルニ、例外ガアルガ大體ニ於イテ兩者ハ伴フト云フコトガ出來ル。平均横彎曲指數ハ健康者(對照)＝於イテモ個人的動搖ガ大キイノデ以下平均縦彎曲指數ノミヲ以テ觀察ヲ進メタ。先ツ症ノ輕重ニ從ツテ全症例ヲ四組ニ分類シ各組ニ就キ平均縦彎曲指數ノ平均値ヲ求めて見ルト、重症ナルニ從ツテ指爪ノ彎曲ハ増加スル傾向ヲ認メルコトガ出來ル。

全症例ヲ病竈ノ範圍ニヨリ三組ニ組分ケシ平均縦彎曲指數トノ相關表ヲ作製、相關係數ヲ算出シテ兩者ノ關係ヲ觀察スルニ、正ノ相關ニ係ガ認メラレ、病竈範圍ノ擴大スルニ從ヒ、ヨリ小範圍ノ範圍ニハ見ラレナイ彎曲強度ノ者ガ増加シテ來ル。而シテ調査シタ 46 名ノ患者中鼓桴指ヲ呈スルモノハ 4 名デ、其ノ平均縦彎曲指

數ハ全症例中彎曲最強度ノ 92.88 ヨリ 95.77 迄ニ含マレル。即チイヅレモ高度ノ彎曲ヲ呈スル。所謂 Hypokratische Nagelkrümmung ガドノ程度以上ヲ程スルカ、其ノ限界ハ定メルベクモナイガ、上記ノ鼓桴指ヲ呈スル者ト同等程度ノ平均縦彎曲指數ヲ示シ、鼓桴指ノ認メラレナイ者ガ他ニ 3 名アル。以上 7 名ハ茲ニ使用シタ病竈範圍ノ區分ニ從ヘバ  $\frac{2}{3}$ — $\frac{6}{8}$  ノ病竈範圍ノモノデアルガ、一般ニ鼓桴指發生ノ要因ト思考セラレ居ル高度ノ硬化萎縮ヲ生ジ居ル者ハ 1 名デアル。

次ニ赤血球沈降速度ニリ四組ニ組分ケシ、同様ニシテ病症ノ活動性ト縦彎曲トノ關係ヲ按ズルニ、病竈範圍ト同等程度ノ正ノ相關ニ係ガ認メラレル。

罹病期間ニヨリ四組ニ組分ケシ同様ニシテ縦彎曲トノ關係ヲ觀察スルニ、前二者ト異リ殆ド相關ニ係ハ認メラレナイ。

以上ノ成績ヨリ次ノ結論ニ達スルヲ得タ。

一 肺結核患者＝於イテハ健康者ニ比シ其ノ指爪ノ彎曲ハ増加スル。

二 病竈範圍ノ擴大スルニ從ヒ指爪ノ彎曲ハ強度トナル、又病勢ノ活潑ナルニ從ヒ強度トナルガ、罹病期間ハ指爪ノ彎曲ニハ影響ガ認メラレナイ。

摺筆ニ臨ミ御指導御校閱ノ勞ヲ賜リタル恩師小宮教授並ニ所長本郷清士ニ深謝ノ意ヲ表スルト共ニ熊本帝大解剖學教室大森講師ノ御助言ヲ感謝ス。

## 主 要 文 獻

- 1) T. Brugsch n. E. Fränkel: zit. nach F. Kraus n. T. Brugsch's „Sp. Path. n. Th. inn. Krankh.“ III. Bf. S. 642, 2) Bamberger: zit. f. kl. Med. 1891, 3) Blumenfeld: zit. nach F. Kraus n. T. Brugsch' „Sp. Path. u. Th. inn. Krankh.“ IV. Bd. I. Hälfte S. 462, 4) W. Pagel: zit. nach

- Jadassohns' Handbuch d. Haut-und Geschlechtskrankh. Bd. 13. 2. Die Krankh. d. Nägel, 5) O. Nippert: anthrop. Anz. Jg. 15. 1933, 6) 金關、忽那' 生體學概論(人類學), 先史學講座第二卷, 7) 小田俊三: 治療及處方 217 號, 631 頁.